

# イチャオシ!

## M OVIE

### 『After 10 Years』

2004年12月26日、インドネシア西部スマトラ島北西沖のインド洋でマグニチュード9.1の巨大地震が発生した。地震による津波は、スリランカの建築家ジェフリー・バワの代表作である「ヘリタンス・アフンガラ・ホテル」にも甚大な被害をもたらした。この作品は、それから10年後、同ホテルで行われた十周年追悼式典までの一週間を追う、写真家ホンマタカシ初の長編ドキュメンタリー。長い時を経て、津波という出来事が人々の記憶の中でどのように変容し、立ち現れるのか——。その姿を静かで穏やかな映像で捉えている。



© Takashi Homma New Documentary

2016年/日本/1時間41分

監督：ホンマタカシ

公開：12月10日(土)よりシアター・イメージフォーラム(東京都渋谷区)ほか  
全国順次公開

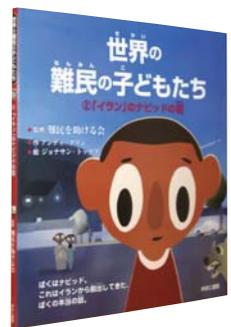
配給：mejiro films

## B OOK

### 『世界の難民の子どもたち』

#### ②「イラン」のナビッドの話

クルド系イラン人の男の子ナビッドが、難民となり体験したことを絵本にした本書。ナビッドが4歳のとき、彼の父親は政治的な理由で命の危険を感じ、やむなくイランから逃れる。その後、ナビッドも母親と共に父親を追って国外に脱出。安住の地までの旅路の中で経験した恐ろしい出来事や数々の苦勞を、ナビッドの視点から描く。「世界の難民の子どもたち」は、アフガニスタン編やジンバブエ編などもある全5巻のシリーズだ。祖国を離れざるを得なかった人々が抱えるさまざまな事情や苦しみ、希望などを、難民の子どもたちの目を通して伝える。



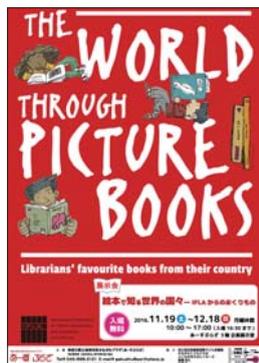
難民を助ける会 監修  
アンディ・グリーン 作  
ジョナサン・トップフ 絵  
ゆまに書房  
2,376円(税込)

この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

## E VENT

### 『絵本で知る世界の国々 —IFLAからのおくりもの』

世界中の子どもたちが大好きな絵本。この展示会では、国際図書館連盟(IFLA)の「絵本で世界を知ろうプロジェクト」を通じて集められ、国際子ども図書館に寄贈された325冊の絵本を紹介する。絵本は、アメリカ、アルゼンチン、カタール、デンマークなど39の国や地域の図書館員が、その国の代表的な作品として選んだもの。中には、日本でも長く読み継がれている作品もある。期間中は、外国語と日本語による絵本の読み聞かせなどのイベントも多数用意されている。展示会を訪れて、絵本の世界にどっぷりと浸ってみよう。



会期：11月19日(土)～12月18日(日)  
10:00～17:00(入場は16:30まで)  
※月曜休館

場所：神奈川県立地球市民かながわプラザ(あーすぶらざ)3階 企画展示室  
問：あーすぶらざ  
TEL:045-896-2121

## B OOK

### 『祭りのとき、祈りのとき Bhutan』

ブータン写真家でブータン語(ゾンカ語)通訳の関健作氏が、初めての写真集を発売した。ブータンに仏教を広めたとされる聖人グル・リンポチェをまつる仮面舞踏祭り「ツェチュ」の写真51点を収めた本作品。ブータンで最も神秘的な祭りともいわれるツェチュの世界観を味わうことができる。日頃から祈りの時間や目に見えない世界とのつながりを大切にしているブータンの人々。彼らの優しさや謙虚さは、そんな“祈りのとき”からやってくるのではないだろうか。そして、その祈りの積み重ねが、“祭りのとき”の一瞬ごとの美しさを生み出している。



関 健作  
3,240円(税込)

この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

購入はこちらから。  
<http://www.kensakuseki-photoworks.com/#blank-2/kofof>